

井草会報

2021
N0.54

発行 井草会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内



会長挨拶

植木 謙
21回(昭和44年卒)D組

昨年初頭から新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、現段階でも同窓会は活動を大幅に自粛している状況です。

ウイルス感染が全国で蔓延している最中、感染防止策のなかでも組織活動として取れる唯一の重要な手立ては三密(密閉、密集、密接)を避けることです。

この為、同窓会では各委員会の活動自粛はもとより2年に1度の同窓会パーティーも本年度は中止としています。

感染から1年たった現在、ワクチン開発が大分進み、本年度中には日本でもほぼ国民全員にワクチンが行き渡るのではと、ウイルス感染制圧への期待感が高まります。

しかし、感染者動向推移や医療機関の受け入れ体勢に鑑みると、本年度については引き続き同窓会活動の自粛をせざるを得ません。

現段階では人が集まりにくい状況がしばらく続くと思いますので、密にならないSNSでのオンライン飲み会や数名程度で時間を限った懇親会等いろいろ工夫をして、ぜひ新しい形での井草会の絆を深めていただければと思います。



井草会ホームページ情報

～井草会報「会員からの便り」に
ホームページから投稿できるようになりました～

トップページ中ほどのアイコンをご利用になると直接投稿フォームのページにつながります。井草会への連絡事項がある場合は、同じページの種別で「井草会へのお問い合わせ」を選んでご連絡ください。

<アイコン一覧>



同期生や先輩後輩のクラス会などを検索してみませんか。トップページ右側(スマホは中段)にある「クラス会・同期会 卒回検索」をご覧ください。ご自分の卒回が不明な場合は、「卒回」で検索すると一覧が表示されます。

井草会ホームページ：
<https://www.igusakai.org/>



目次

井草会ホームページ情報	1	キャンパスニュース	9
会員からの便り	2～3	井草高校NOW	10
恩師からの便り	4～5	幹事総会報告	11
OB/OGインタビュー	6～7	井草会掲示板	12
フレッシュ OB/OGインタビュー	8		



会員からの便り

～昨年寄せられた、皆様からのお便りをご紹介します～

<昭和20年卒 高女1回生1組 川崎 幸>

都立第18中学として入学しました。ところが、昭和16年、入学してすぐに米国と戦争となり、3年生頃には米国の空襲を受けるようになりました。学業も無くなり、あこがれの水兵服を着ることも無く、動員されて働くことになりました。軍需工場だったので空襲を受けて防空壕で怖い体験もしましたが、幸いにも助かりました。現在はクラシックバレエの指導をして元気に過ごしております。

<昭和32年卒 9回生D組 坪井 光男>

卒業して65年、今年82歳を迎えました。昨年（2019年）開催された絆同窓会に招待年度の恩恵に浴して参加させていただきました。そして驚きました。会場が熱気に溢れていました。母校が多くの方々のためめ力の結集により発展している証と思われ、嬉しくなりました。ボクの時代は万事控えめであったように思えます。ホームページ掲載の木造校舎、ヒマラヤ杉、校舎を結ぶ渡り廊下、その雰囲気の中で3年を過ごしました。顧みれば視野の狭かった少年が卒業と共に飛躍的に成長、そこに体験も加わりさらに世間の実相を見ることで一人前となっていきました。そして時間の経過と共に“思い出”を語る人となりました。同窓会に参加させていただき懐かしき友と再会、加えて往時を振り返る機会が与えられたことに大いに感謝しています。ありがとうございました。

<昭和33年卒 10回生C組 西川 伸治>

同期の皆さんはそれぞれにお付き合いがあるのでしょうか。私は毎年、永倉新太郎君の絵の展覧会に招待されて交流を続けています。現役時代は柔道部で活躍していました。3年生の時には柔道部部長となり張り切り過ぎ、大学受験に1年余分に勉強してギリギリで入学出来ましたが、その柔道経験が私のサラリーマン人生ではずいぶんプラスの要因となりました。できれば同期C組の仲間の集会があれば出席してみたいですね。



<昭和34年卒 11回生D組 神谷（鈴木）三英子>

私が井草の門を初めてくぐったのは7歳の時だった。戦時中父は北京へ、残された家族は東京の家を焼かれて長野へ疎開した。戦後になって父は井草高校へ復帰し、単身で東京へ。帰る家がなくなった我々は、私の小学校入学を機に一時井草の事務室に引っ越した。当時作法室、小使い室等に数家族が住んでいた。生徒さんの帰った後の教室や廊下は子どもたちの格好の遊び場だった。その高校に15歳になって入学した私です。今でも父が担任だったクラスの皆様と交流させていただいています。井草の良いところ…ではないでしょうか？

<昭和35年卒 12回生D組 中野 洋史>

令和2年の11月18日に山岳部の同期生だった杉山亮兵君の一周忌を迎えました。昭和33年に山好きの同志が集まって、「元々女子校」と陰口された井草高校に初めて山岳部を立ち上げました。思い出の最初は、運動会のデモンストレーションに校舎の2階から鉤靴とザイルで懸垂下降して校舎の板壁を壊し廃部を覚悟したところ、山好きの真田校長の温情で許されたこと。2番目は伊勢湾台風直下の南ア北岳に杉山リーダー指揮のもと初登頂！合掌。



<昭和42年卒 19回生I組 川勝 文雄>

3年前に古希を迎えて、時の過ぎゆく速さを実感しています。去年は新型コロナウイルス感染により全国的に自粛ムードを強いられ、もうコロナ以前の状態には戻れないという悲観的な思いに駆られたものです。このような時に昔懐かしい友の顔が幾重にも私の脳裏をよぎりました。「青春の光と影」ではないですが、あの頃の自分の姿をどこかで俯瞰している自分を感じ、何故か興奮したりいとおしくなったりと、心の中がざわつくのです。熱い日差しの中でバレーボールの球を追いかけて、友と磐梯山に登り、石神井公園でボート遊び、そして既に鬼籍に入ってしまった友もあり、人生の楽しさと同時に残酷さをも味わう辛さ

もあります。現在私は某私立大学の通信教育部に籍を置き、若い頃に果たせなかった夢の実現に向けて日々奮闘しています。若い時のような頭の柔軟さには欠けますが、今までの人生経験から得た知見をもとに勉学に勤しんでいます。気持ちはいつでも青春時代、真っ只中です。

<昭和43年卒 20回生A組 九合 秋一郎>

高校卒業後いろいろと転居し、井草高校とは疎遠になっているうちに70歳になってしまいました。最近になって井草会の方からご連絡いただき、この会に参加することにしました。卒業アルバムを見ても覚えている顔は少ないです。1年時はバスケットボール部、2



年からはベンチャーズとビートルズに明け暮れ、杉並公会堂での演奏がせめてもの思い出です。当時の演奏グループは、加藤秀二君(今でも時々会っています)、田中秀二君(逝去)、樋口喜代司君(逝去)などでした。最近はコロナで大騒ぎですが、また皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。

<昭和44年卒 21回生F組 永井(船越)和代>

2020年7月末、井草高校入学(1966年)以来ずっと親しくしていた友人が旅立ちました。どんな時でも笑わせてくれた友人でした。旧姓、和田美代子さんです。1年E組で担任は英語の広川先生です。「いちねんいい組」といって、まとまった楽しいクラスでした。またあちらで出会ったら笑わせてくれることでしょう。

<昭和49年卒 26回生C組 田辺 司>

在学中は柔道部に所属し、主将を務めていました。高一の時の昇段審査(於 講道館)で左腕を脱臼した時の音は、今でも覚えています。高二の頃は故三柳将明先生を師と仰ぎ、将来は高校の体育教師になると心に決めました。大学卒業後、埼玉県の高校教員を20年勤め柔道部の顧問を続けました。転職して今は居酒屋「黒おび」の親父です。屋号は井草高校柔道部に由来します。時々当時の柔道仲間と飲み会を開いて往時を楽しんでいます。



<昭和53年卒 30回生A組 中村(大垣)理津子>

母から「あんたはただのおとなしいだけの子なの!!」と厳しく叱責されてから入った高校だった。私は積極的になりたかった。文化祭の前に、担任が世界史の先生だったこともあり、私は「世界史上の英雄をたずねて、というのをやりたいと思います」と皆の前で言った。でもだれも賛成してくれなかった。別の時に「クラスのリーダーになりたいです」とも言った。でもだれも賛成してくれなかった。しかし意見を言ったことは私にとって非常にさわやかな、また明白な自己の思い出となった。

「会員からの便り」 を募集しています!

「高校時代の思い出」や「同窓生へのメッセージ」など、あなたの声を募集しています。

同封の原稿用紙をご利用の場合は井草会事務局宛に郵送してください。

井草会ホームページの「会員からの便り」からも投稿できるようになりました。トップメニューから「井草会について」→「井草会への連絡」へと進み、種別で「会員からの便り」をお選びください。また、トップページ中程のアイコンを選択しても直接投稿フォームにつながります。

原稿は200字程度でお願いします。紙面の都合上、多少編集させていただく場合があります。



締切：令和3年12月31日

(次の会報に掲載予定)



恩師からの便り



村本 直美 先生

(昭和55年～平成4年、
英語)

ギターアンサンブル部、
漫画研究部、演劇部顧問

井草高校に着任したのは1980年、教員4年目でした。学区制、学校群の時代で、母校と同じく生徒を信頼し、自主性を尊重する雰囲気でした。

当時は経験が浅く、授業も冷や汗ものの未熟さで、理解ある優秀な生徒と面倒見のよい先生方のお陰で何とか毎日を過ごせていました。学校独自の實力テストがあり、原書や大学入試問題をひたすら読み問題文を探しました。進学対応授業の基本は井草での経験が作ってくれたのだと思います。

印象的だったのは応援団やマスコットのレベルの高さ、杉並公会堂での舞台発表とオーディション、模擬店をバザール、喫茶をパーラーと呼ぶセンス。井草祭の全てが新鮮でした。有志劇に出たり、先生方のバンドで歌ったり、行事を共に楽しみ、生徒主体の行事のあり方について学んだことが異動先の学校でも役立ちました。

授業は生徒がいて初めて成り立つものです。質問を受け、答えることで自分の学びが深くなります。教えたことより生徒から教えられたことが遥かに多いのです。英語教育への要求も授業のスタイルも入試問題も井草時代とは激変しました。パワーポイントとデジタル教科書を使えるようになり、ネイティブの先生と全て英語でteam teachingを行ないました。ようやくゴールが見え、昨年3月が最後の授業になるはずでした。



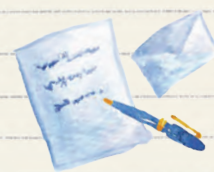
ご存じのようにCOVID-19により一斉休校、学年末
考査中止、離任式は放送でした。

今、COVID-19は人の絆を危険に晒しています。私はICUを塞がぬように、人と会わず、話さず、外出を控え、最後に人と食事をしてからほぼ1年が過ぎました。幸い一人が好きで、夜更けまで本を読み、持ち帰り料理を楽しみ、オンラインのトークイベントや動画配信もあり、時間を持て余すことはありません。でも、皆が自由に旅行や外食を楽しめないままでは心が晴れないのです。高校生が行事や部活を十分楽しめず、マスクと消毒液を離さない学校生活を送っていると思うと自粛しかできないことが歯痒く思えます。

強力な手段で行動を制限すれば早く終息するのかもしれませんが。呼びかけに従わない人を糾弾した方が早いかも知れません。でも人の自由を力づくで奪えば、自らの自由もいつか奪われてしまいます。人生の判断を強い誰かに委ねてはならない。井草での日々を思い起こし、自らに言い聞かせています。



～井草の思い出～



古屋 明子 先生

(平成28年～令和2年、
国語)

卓球部顧問

井草高校の一番の思い出は、先生方や事務・用務主事さん方、同窓会の皆様、保護者の皆様、生徒の皆さんほか、大勢の方々に支えていただいたことです。自由に思う存分やらせてくださった校長先生や副校長先生、事務長様初め事務室の皆様、企画調整会議の各主任の先生方、分掌・学年の各先生方、同窓会の皆様に心から御礼を申し上げます。

まず、国際教育広報部では、井草高校の長所（生徒の自主・自立等）をどうすれば中学生の皆さんにより良く伝えることができるかを、部の皆で必死に考えました。学校説明会で中学校や様々な会場を訪問する度に、井草高校を第一希望とする中学生の皆さんに絶対に合格して欲しいと心から思い、助言と励ましを工夫しました。中学校で古典の模擬授業をする度に「古典の世界は興味深い」と言ってもらえて、最高に嬉しかったです。また、井草高校で行う学校説明会も、どうすれば中学生や保護者の方々の心に残るものにできるかを皆で考え尽くしました。パワーポイントや掲示物作成から、ゴミ箱やトイレの最終チェックまで、皆で1回1回丁寧に取り組んだつもりです。生徒会役員や奉仕活動の2年生も中学生のあこがれの先輩として大活躍してくれました。

次に、2月から翌年の1月まで、毎日朝の古典学習に参加した2、3年生の皆さん。理系の生徒が毎回古文の現代語訳を見せてくれたのですが、2ヶ月

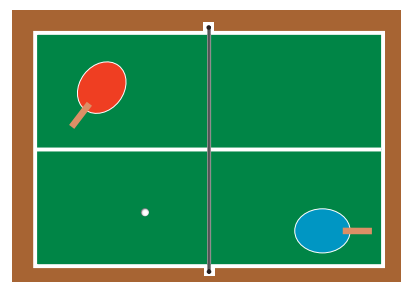
後にはスラスラ現代語訳ができるようになりました。めでたく第一志望の大学に合格した生徒もいれば浪人した生徒もいたのですが、皆さんのひたむきな努力に応えるのは大変やりがいがありました。

また、1年生の時だけの担任で大変申し訳なかったのですが、現在の3年生の皆さん。授業も楽しかったのですが、やはり行事が最高でした。クラスの団結力が強く、特に、応援団の皆さんは大変よく練習をしていたなあ、とか、よく自分たちだけであの劇をやり遂げたなあ、とか、各リーダーの皆さんはさぞかし苦労しただろうに、私は担任としてちゃんと支えることができたのだろうかと思ひきりです。

そして、卓球部。技術指導が全くできない私を、歴代部長や幹部学年の皆さんが助けてくれました。その技術指導を同窓会長様や歴代コーチの皆さんが引き受け、部員たちをととてもよくかわいがってくださいました。毎年夏には卓球部のOB・OGの皆様が集まり、現役生と楽しく交流し、大変お世話になりました。部員の公式戦や練習試合（個人戦・団体戦）では、もちろん強い選手も何人もいましたが、皆が一生懸命に取り組んでいる様子がとても興味深かったです。夏合宿も行い、皆がまじめに取り組みどんどん上手になっていくのは、見ていて気持ちが良かったです。

今は将来教員を目指す大学生と過ごしております。井草高校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

(現 大東文化大学文学部日本文学科特任教授)



[略歴]

早稲田大学第一文学部美術史専攻卒業

1995年からグラフィックデザイナー/イラストレーター、音楽業界・学校教育関係を中心に活動。

2009年から色鉛筆による制作活動を始める。

2014年1月、日本人として初めてアメリカの色鉛筆専門誌にピックアップアーティストとして掲載される。

制作活動の傍ら、都内近郊のカルチャースクールなどで色鉛筆教室も開催している。

O B / O G

色鉛筆画家

はやし りょうた
林 亮太さん

32回(昭和55年卒) D組



Q. 高校時代から将来美術関係の仕事を考えていましたか？

高校時代はまったく美術方面に行くつもりはなく、むしろ音楽をやりたいなと思っていました。美術史も大学で専攻を選ぶ際に消去法的に選びました。

Q. 色鉛筆画家になろうと思ったきっかけは？

サラリーマンデザイナーだった頃、クライアントとのやりとりなどで色鉛筆を使っていました。また、CGでイラスト制作なども行っていたので「色鉛筆で絵を描いたらどうだろう？」という単純な動機です。

Q. 題材は街並み風景が多いですが、何か特別な思いはありますか？

子供の頃からユトリ口のモンマルトルの街角の風景画が好きでした。「これに印象派の光を加えて日本の風景を描いたらおもしろいかも」という思いがありました。

Q. 作品には日付も記載されていますが？

絵画に日付を入れているのは、自分の記録と同時に日付を入れることで絵画にライブ感を持たせたいからです。風景は移ろいやすいものですから。

Q. 色鉛筆絵画の楽しさと難しさは何ですか？

色鉛筆画は油彩や水彩と違ってすぐに描くことができ、また片付けなども簡単です。絵を乾かす必要もありません。思い立ったときに制作



道場寺三重塔



三宝寺池

できる非常に瞬発力ある画材です。また、繊細な表現からダイナミックなタッチまで表現の幅が広いのが魅力ですね。反面、先が細い画材ですから大きな絵を描くときには面を線で埋めていくしかなく、ちょっと面倒なこともあります(笑)。あとは「子供の画材」という印象が強いの、美術界ではなかなか認められないことが多いですね。

Q. 林さんの作品を拝見して写真と見間違えるほど緻密でかつ色鉛筆でこんなに多彩な色が出せるのかと驚きました。最近テレビでも色鉛筆画を扱った番組がありますが影響はありますか？

私自身、何回かテレビ取材をいただいたことがありますが、やはり視聴者の方は「色鉛筆でこんなふうに描けるの？」という驚きの反応と同時に、色鉛筆自体に興味を持っただけのようですね。画材の認知度向上はもちろん、「絵を描く」ということに興味を持っただけと同時に絵画人口の拡大には役立っているように思います。

Q. 高校時代はどんな学生でしたか？

卓球部に所属していましたがド下手でレギュラーにもなれず、勉強やスポーツにも特に秀でることもなく平凡な目立たない学生だったと思います。

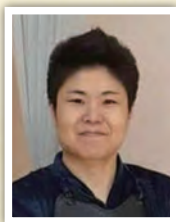
Q. 井草は林さんにとってどんな高校でしたか？

すごく明るい学校だったと思います。友人にも恵まれました。高校生活で印象に残ったことと言えば、1年生の時にやった井草祭の応援団です。部活の練習以上にキツかったですが、本番は晴れがましく楽しかった記憶があります。

Q. 井草の後輩にメッセージをお願いします

私自身、絵で世に出たのは50歳すぎから。あきらめずに好きなことを続ければきっと夢は実現すると思います。

インタビュー



伝筆講師

きくち ひさえ
菊地 寿枝さん

38回(昭和61年卒) D組

【略歴】

岩手大学農学部畜産学科卒業

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所で研究補助員として勤務

剣道教士七段

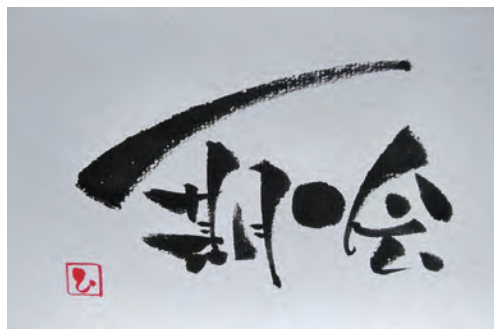
伝筆協会認定講師

マインドブロックバスター®インストラクター

Q. 伝筆とはどういうものですか？

「伝筆(つてふで)」の「伝(つて)」とは「ご縁」のこと。

筆ペンで「だれでも、いつでも、どこでも」描ける筆文字として2013年からスタート。大切な方へ、大切な想いを伝え、ご縁を広げ、ご縁を深め、「つて」を作るツールとして、伝筆(つてふで)と名付けられました。字が下手でも、絵が描けなくても、コツさえ覚えればどなたでも描くことができるので、「自分の字にコンプレックスがある」と言う人にこそオススメしたいです。書く方も受け取る方も笑顔になる、気持ちをほっこりさせてくれる不思議な筆文字です。



ラインやリアルでのセミナー開催やイベント出店もやりたいです。



Q. 伝筆講師になられたきっかけは？

年賀状を筆ペンで書いていましたが自己流なので、年相応にキレイな字を書きたかった。当時は美文字ブームで色んなテキストがあり、自分の好きな字体をネットで検索していて伝筆を見つけ、「これなら簡単に書けそう」と思ったのがきっかけで伝筆を習いました。一緒に受講した方から伝筆で描かれたハガキをもらってとても嬉しかったので、この喜びを多くの人に知ってほしいと思うようになりました。

同じ頃、剣道を子供たちに教える中でどうしても伝えたいことが伝わるのか、子供たちが稽古を楽しみ、試合で実力を発揮できるのかを悩んでいたときだったので、伝筆先生としての学びが剣道にも活かせるのではないかと考えて講師の道を選びました。

Q. 現在どのような活動をされていますか？

- ・伝筆を広めるための「1,000人チャレンジ」・・・お1人様1枚限定、伝筆で描いたハガキを郵送しています。
- ・Web伝筆キャラバン・・・テーマ「生まれてきてくれてありがとう」から連想する、参加者の想いを込めた言葉の見本を講師が描き、参加者は筆ペンでその見本を真似て描いてもらうという、無料のオンラインイベントです。
- ・職場に季節の伝筆ハガキを飾る、送別会で渡す色紙の宛名を描いて喜ばれています。

Q. 今後どのように活動されたいですか？

手拭いの文字を伝筆で描くことが私の夢です。オン

Q. 高校時代の思い出やエピソードは？

- ・体育館にステージがなく、1年生の文化祭は練馬文化センター、卒業式は杉並公会堂でやったこと。
- ・「井草メモリー」は歌い継がれているのかな？
- ・剣道に燃えていた時期で「剣道小僧」というあだ名をいただきました。大学の剣道部の自己紹介でこのエピソードを話したら、「小僧」と呼ばれて稽古もお酒も大変可愛がってもらいました。
- ・ロッテリアで何時間もしゃべったこと。
- ・1年生の時は校舎の建て替えで校庭が使えなくなるといことで、6月に体育祭があった記憶があります。
- ・初めての井草祭はマスコット作りに関わり、学年を超えて一つのことをやり遂げることに感動しました。
- ・2年生では応援団、石神井公園で夜遅くまで練習し0時過ぎの帰宅、翌日の授業は睡眠学習(笑)。
- ・卒業式は先輩に借りた学ランで出席。

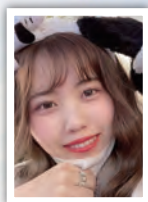
Q. 後輩たちに伝えたいことは？

- ・学び直しはいつでもできる。
- ・記録を残し、振り返る。
- ・できない理由を探すのではなく、どうしたらできるのか考える。
- ・しれっとやる。
- ・めげるな逃げるなあきらめるな。

伝筆協会ホームページ : <https://tsutefude.com/>

菊地寿枝のInstagram : <https://www.instagram.com/mbb.hisae.kikuchi?r=nametag>
(ユーザーネーム : mbb.hisae.kikuchi)

フレッシュ OB / OG インタビュー



さんぽんまつ ゆうな
三本松 優直 さん

72回(令和2年卒) F組
明治学院大学 文学部フランス文学科



にいむら ひょうが
新村 彪雅 さん

72回(令和2年卒) F組
慶應義塾大学 総合政策学部総合政策学科

Q. コロナ禍の1年、どのような学生生活でしたか？また、どんなことを学んでいますか？

前期は全授業がオンラインで行われ、後期は一部対面授業が開始されたものの合計10回程度しか登校できませんでした。思い描いていたキャンパスライフとは全く異なるものでした。大学での新しい友達も5人程度しかいません(笑)。

文学部フランス文学科という学科で、フランス語やフランスの文学、文化について専攻しています。

Q. 進路選択の動機や決め手は？

私が希望する職種への就職率が高かったことが、大きな決め手になりました。フランス文学科を選んだのは英語以外の言語を勉強したかったからです。キャンパスの雰囲気が落ち着いていて自分に合っていると感じたことも決め手の一つでした。

Q. 受験勉強は大変でしたか？

勉強が好きではなかったので大変でした。周りの方々のサポート無しには乗り切れなかったと思います。受験に向けて勉強している期間も大変でしたが、合否発表を待つ時間が一番精神的に苦痛だったと思います。

Q. 将来の夢や希望は？

航空関係の職に就きたいと考えています。コロナの影響が大きい職種で募集が大幅に減っていますが、諦めずに頑張ろうと思います。

Q. 高校生活の思い出や印象に残っていることは？

一番の思い出は体育祭です。未だに体育祭で撮った写真や動画を見返すことがあります(笑)。

今現在は充実した学生生活を送れている実感がないので、井草での一日一日が貴重なものだったと感じます。

Q. 後輩たちへエールを！

コロナの影響で不自由なことも多いかと思います。その中でも、勉強や部活動など様々なことを頑張っている皆さんはとても凄いと思います。高校での時間はあっという間に過ぎてしまうので、やりたいことがあれば是非頑張ってください。応援しています！

Q. コロナ禍の1年、どのような生活でしたか？

新たな友達や高校時代の友達とも会えず、勉強に追われる日々でした。オンライン上でのコミュニケーションが増え、改めてインターネット普及のすごさを学びました。

Q. 進路選択の動機や決め手は？

入って後悔しないことや就職の良さなどで判断しました。

Q. コロナ禍での受験勉強は大変でしたか？

とても大変でした。合格後の自分の姿を想像してモチベーションを保っていました。少しでもライバルと差をつけるため、一定のペースを保って勉強を続けました。緊急事態宣言時、予備校は閉館していて家での勉強を強いられました。自分は家では勉強ができないタイプのため最初はペースが乱れてしまいましたが、30分集中して勉強、10分休憩の繰り返しという、自分が一番疲れずに長い間勉強する習慣を確立することで効率の良い勉強ができました。

Q. 大学での友達作りについては？

現在はコロナ禍で人の密集を避けるため、サークルの新歓やガイダンスがzoomやネットでのライブ配信で行われています。新歓やガイダンスは例年なら友達ができる場ですが、オンラインにより友達ができず不安になるかと思っています。そのため、InstagramやTwitterなどのSNSを使い、積極的に新入生と絡んでいくことをお勧めします。同じような不安を抱えている新入生も多く、ネットを通してある程度仲良くなった人には初対面の時に話しかけやすいと思います。ぜひ活用してみてください！

Q. 将来の夢や希望は？

具体的には決まっていますが、都市開発に関わっていきたいと思っています。

Q. 高校生活の思い出や印象に残っていることは？

高校3年生の時の体育祭です。人生最後の文化祭で、クラス一丸となって総合優勝を取れたことがとてもうれしかったです。

Q. 後輩たちへエールを！

コロナで大変ですが残された高校生活を楽しんでください！

キャンパス ニュース

コロナ禍の学校現場より

井草高校 副校長 澤崎 陽彦

井草会会員の皆様、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

昨年の2月28日の臨時休業、4月7日の緊急事態宣言からこのかた、新型コロナウイルス感染症の感染状況はいまだに混沌としてゴールが見えません。高齢者向けワクチン接種が始まり、一筋の光明が見えたような気もしますが、変異株の拡大も始まっており予断を許さない状況です。これまで、井草高校の教育活動は国や都の感染防止策をしっかりとして講じてきたところです。対策のポイントは校内にウイルスを持ち込まない、この一点につきまします。

とはいえ、今年の1月中旬、都内の感染者数が1,000人を超えたときには市中感染が拡大していることを肌で感じました。家庭内感染による濃厚接触者の増加、陽性者の出現に緊張しました。陽性者に対しては、周辺の濃厚接触者の特定をするために、日ごとの行動を丁寧に聞き取るなど、保健所等関係機関に連絡する業務が土日に関わらず毎週続きました。

欧米諸国では強制的にロックダウンという措置をすることで、国民の行動を制限して感染拡大を抑止しますが、日本の場合国民に行動制限を要請することで感染拡大を抑えようとしています。

現時点では教育活動については、通勤時間帯を避ける時差登校と45分授業を継続しています。部活動は平日4日、2時間程度、休日1日という枠で活動しています。

再び緊急事態宣言が発令されると、分散登校で学校内の活動人数を2/3程度に圧縮したり、登校曜日を分けたり、オンラインコンテンツを活用した授業を実施します。昨年の1学期もYouTubeに授業動画をアップして行いました。

昨年の学校行事については、体育祭は中止、文化祭は学年別の学習発表会を行いました。修学旅行は残念ながら中止としました。

今後の感染状況も予測できない中で、コロナ感染症を前向きに捉え、アフターコロナに向けた教育活動を模索しています。何卒よろしくお願い申し上げます。

自主・自由・自律 “igusa 夢 project”

井草高校 進路指導部 武藤 亮

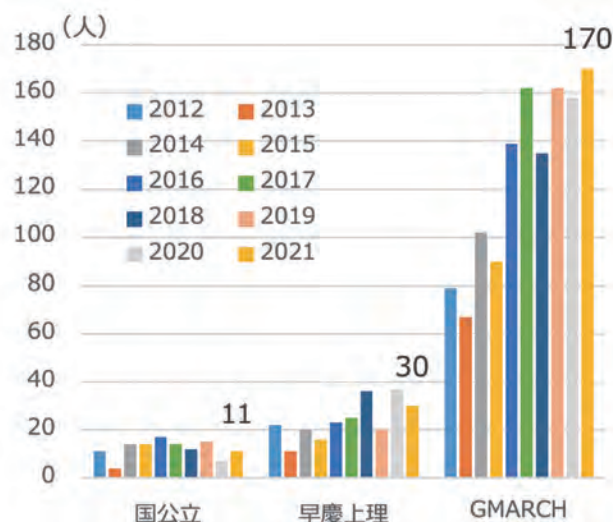
高校の先の、さらにその先を見据えた井草高校の進路指導、「igusa夢project」も15年目を迎えました。国公立や難関私大にチャレンジする生徒も増え、年々進学実績が向上しています。

2021年入試を振り返ってみると、今年の大学入試は予測不能でした。センター試験が大学入学共通テストに替わり、過去問のない受験となりました。また新型コロナウイルス感染拡大を受けて試験自体の実施が危ぶまれるなど、まさに綱渡りの入試でした。

そんな中で後輩達はよく頑張りました。難関私大のGMARCH（学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政）合格者は過去最高の結果となりました。

自主・自由・自律を旗印に、「igusa夢project」はさらに進化して行きます。卒業して10年、28歳の自分をイメージできる進路指導、これからも井草高校の進路指導に期待してください。

■10年間の合格者推移（現役・浪人合計）



■2021年合格状況（既卒者、推薦入学を含む合格者数）

国立大学		跡見学園女子	5	札幌国際	1	大東文化	19	東京女子	10	文教	2	
秋田	1	桜美林	3	産業能率	1	高千穂	1	東京成徳	1	文京学院	1	
帯広畜産	1	大妻女子	6	実践女子	7	拓殖	10	東京電機	12	法政	37	
埼玉	1	学習院	15	芝浦工業	11	玉川	8	東京都市	4	武蔵	44	
東京学芸	1	学習院女子	1	淑徳	3	多摩美術	2	東京農業	23	武蔵野	13	
東京芸術	1	神奈川	1	順天堂	2	千葉工業	2	東京理科	6	武蔵野美術	3	
北海道教育	1	川村学園女子	1	上智	5	中央	16	同志社	3	明治	43	
山梨	1	北里	4	昭和女子	13	津田塾	3	同志社女子	4	明治学院	5	
公立大学		京都産業	3	女子栄養	1	帝京	14	東邦	4	目白	2	
秋田県立	1	共立女子	5	女子美術	2	帝京科学	4	東洋	53	立教	32	
公立諏訪東京理科	1	杏林	8	白百合女子	2	帝京平成	4	獨協	7	立正	4	
東京都立	2	慶応義塾	8	駿河台	1	天理	2	二松学舎	2	立命館	7	
文科省所管外の大学校		工学院	6	成蹊	31	東海	10	日本	54	和光	1	
国立看護		1	國學院	12	成城	6	東京医科	2	日本工業	1	早稲田	12
私立大学		国士舘	2	清泉女子	2	東京医療保健	1	日本獣医生命科学	8	和洋女子	1	
青山学院	27	駒澤	20	専修	22	東京家政	11	日本女子	3			
麻布	1	相模女子	3	創価	1	東京経済	5	日本赤十字看護	1			
亜細亜	12	札幌学院	1	大正	2	東京工科	6	フェリス学院	1			

※ 詳細は井草高校ホームページをご覧ください。

井草高校 NOW

現役の井草生の学校生活の様子をお知らせするため、井草高校ツイッター (@tigusahs) から注目のツイートをセレクトしました！(一部原文を修正しています)

入学される皆さんへ 2020年4月8日

残念ながら、入学式は実施することができませんでした。本日、入学許可通知書と自宅で学習できる課題を郵送しました。体調に気をつけて頑張ってください。皆さんに会える日を楽しみにしています。

1 学年担任一同。



入学を祝う会 2020年6月8日

入学を祝う会を举行します。



弓道部 2020年9月13日

9/12,13に今年度初の公式戦2020 Tokyo Thanks Match (都総体代替大会) が行われ、男子団体が準優勝し、スポーツ庁長官特別賞を受賞しました！ 10月の秋季大会 (全国選抜予選) に向けて、引き続き稽古に励みます。



演劇部 2020年9月22日

城西地区大会『フランダースの負け犬』終演いたしました。結果として入賞はならず…が、審査員の方から「原作者への最高のオマージュだった」というお言葉を頂けました。私も顧問として、1人のファンとして、演劇部に携われて幸せです。これからも応援よろしくお願いします！



水泳部 2020年9月22日

女子は準決勝で中大附属 (前年優勝) と対戦。第1Pは同点も徐々に引き離され1-7で敗戦。

3位決定戦は成城学園 (前年2位) と対戦。先制されましたが、5-1で勝利し祝3位となりました。

学校プールでの練習も残り僅かです。水温にめげず、11月の競泳公式戦に向けて努力していきます。



入学式 2021年4月7日

第75回の入学式を実施しました。快晴の中、桜も美しく素敵な入学式でした。新入生のみなさん、これから素敵な学校生活を送りましょう！



2021年度定時幹事総会報告

2021年度定時幹事総会は、コロナウイルス感染拡大のため、昨年度に引き続きメールまたは郵送にて決議を行う書面開催となりました。

事前に発送されたメールまたは葉書による開催通知の返信で出席を表明された幹事の方々 46名（＋委任状281名）により幹事総会の必要定足数50名を満たし、5月31日（月）の総会が成立しました。

事前に送付された議案書により2020年度の各委員会事業報告・決算報告・監査報告があり、2021年度の事業計画案・予算案が審議され、議事はいずれも議決権行使者の賛成多数で承認可決となりました。

今後の同窓会活動については対応を検討し工夫をしながら取り組んでいきますので、会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

井草会援助金制度のご案内

井草会では、同期会、クラス会、OB・OG会等の開催に対して援助金制度を設けています。

～この制度は井草会の事業の一環であり、
会員の年会費によって賄われています～

【利用条件】

援助金は、30名以上の同期会、15名以上（65歳以上は10名以上）のOB・OG会やクラス会に対して給付されます。

【援助額】

千円／人で、クラス会は3万円、その他の会は5万円を上限とし、年に1回限りの利用となります。

※2年連続の利用はできません。

【手続】

井草会ホームページの援助金事前申請フォーム（下記URL）に会合名・目的・参加予定人数・開催予定日・幹事名（卒年・組）を入力し、必ず開催日の1週間前までに申請してください。

<https://www.igusakai.org/enjokin/>

【通知】

受け付け確認後、担当者よりその後の手続きの詳細をメール等にてお知らせいたします。

2020年度決算・2021年度予算

収 入 2021年3月31日現在（単位：円）

項 目	2020年度予算	2020年度決算	2021年度予算
繰 越 金	1,849,713	1,849,713	2,819,728
入 会 金	944,000	944,000	892,000
会 費 収 入	2,800,000	2,852,000	2,800,000
寄 付 収 入	500,000	672,000	500,000
雑 収 入	5,000	94	5,000
計	6,098,713	6,317,807	7,016,728

支 出

項 目	2020年度予算	2020年度決算	2021年度予算
会 報 委 員 会	2,950,000	2,784,103	2,950,000
会 報 通 信 費	1,300,000	1,264,374	1,270,000
会 報 印 刷 費	650,000	641,821	650,000
そ の 他	900,000	857,805	930,000
委 員 会 活 動 費	100,000	20,103	100,000
同 窓 会 委 員 会	500,000	0	450,000
クラス会等援助金	400,000	0	400,000
委 員 会 活 動 費	100,000	0	50,000
広 報 委 員 会	150,000	161,440	70,000
インターネット委員会	100,000	7,636	100,000
事 務 局	1,170,880	541,420	1,170,880
活 動 費	600,000	272,444	600,000
井草高校助成金	300,000	0	300,000
年会費振込手数料	270,000	268,096	270,000
入会金振込手数料	880	880	880
会 計	20,000	3,480	20,000
予 備 費	1,207,833	0	2,255,848
支 出 合 計		3,498,079	
次 年 度 繰 越 金		2,819,728	
計	6,098,713	6,317,807	7,016,728

財 産 目 録

2021年3月31日現在（単位：円）

井草会事務所開設準備金 15,500,000



井草会掲示板

■ 井草祭のお知らせ

開催日時（予定）：

9月11日（土）・12日（日）10時～15時

※なお、開催日程は変更の可能性がありますので、井草高校ホームページでご確認ください。

■ 年会費・寄付の納入方法

井草会は会員の方々の年会費（2,000円）で運営しています。同封の払込用紙以外でも納入できます。年会費以外に寄付も受け付けておりますので、ご協力をお願いします。

◆払込用紙での納入（郵便局） ※コンビニも可

井草会報に同封の払込用紙では郵便振替とコンビニエンスストアでの払い込みができ、いずれも手数料は不要です。

◆郵便振替

東京00120-4-84359 井草会

◆一般金融機関から振り込み（ネットバンク使用可）

一般の金融機関、ネットバンク等から振り込まれる場合は下記の口座をお願いします。振込手数料はご負担ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
店名	〇一九店（ゼロイチキユウ店）
口座種目	当座
口座番号	0084359
口座名	イグサカイ
年会費	2,000円 ※2,000円を超えた金額は寄付
振込（依頼）人名	卒回または卒年 組 氏名（旧姓）
※例：38C イグサハナコ（ヤマダ） 1986C イグサハナコ（ヤマダ）	

◆寄付・その他

井草会報に同封の年会費払込用紙の金額を修正して郵便振替、または一般金融機関から振り込みができます。ただしコンビニエンスストアでの寄付納入はできませんのでご注意ください。

恩師の訃報

藤岡 和夫 先生

菊地 広志 先生（S.53～63年、国語）

令和3年3月15日逝去



編集後記

なかなか終息しないコロナ禍により同期会・クラス会等も開催されず、紙面が埋まらないのではと危ぶまれましたが、恩師を始め原稿を依頼した皆様方のご協力のおかげで、何とか発行にこぎ着けることができました。本当にありがとうございました！

■ 2020年度一般寄付金寄付者名簿

2021年3月31日現在

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

高女 1	森 恵子	28	高校21	宮 本 静代	10
高校 4	河上 喜美江	3	高校22	戸倉 賢二	3
	杉浦 千重子	8	高校23	田中 隆枝	3
高校 6	沢田 祐二	8		守村 卓	10
高校 7	渡辺 きさ子	10		松崎 章	8
高校 8	中上 喜久男	8		山下 昭夫	4
	瀬尾 行弘	3	高校25	村上 俊雄	3
	岡部 忠男	1	高校26	田辺 司	3
	吉村 弘文	8		大谷 哲	3
	木下 敬子	8		岡田 雄一郎	3
高校 9	渡辺 正義	8		杉野 俊哉	1
高校11	坂本 輝子	3	高校27	小松 隆之	10
高校12	尾崎 政雄	3		仰木 明	3
	細野 恭代	3		町田 秀彦	50
	中林 保彦	3		山口 千鶴子	3
	関 基治	3		神代 洋男	3
	牧野 勝豊	5	高校29	増田 達朗	6
高校13	富岡 和子	8	高校30	伊集院 直子	1
	斉藤 勲	3		田中 明美	3
	故村 田たづ子	100		沖田 芳弘	3
高校14	三宅 みどり	3		新井 信晶	10
	岸本 清見	5		大場 肇	3
	松本 洋子	3		青木 章	1
	林 健一	5	高校31	阿部 恵	1
高校15	渡辺 秀一	3		藤野 哲也	3
	今井 千恵子	3		滝川 直	10
	堺 公子	3		藤吉 和彦	3
	川添 洋子	3	高校32	松浦 昭浩	3
	三井 康子	3		藤川 由美	1
	小野 節子	3		故須藤 一	3
	小泉 彰	3	高校33	中村 一郎	3
高校16	国場 寛	3		安達 亜紀	10
	横山 芳昭	3		五味 祐一	10
	小島 弘	1	高校34	竹田 和代	6
高校18	郡司 明郎	8		島田 隆司	3
	千葉 優子	3		高野 郁人	1
高校19	村田 勉	3	高校37	市原 毅	8
	川勝 文雄	3	高校38	相田 智成	3
	高橋 勉	3		鈴木 庸之	2
	嘉茂 秀起	3	高校40	真野 佳澄	1
	赤坂 正人	100		満川 元貞	1
高校20	野崎 暁	3	高校41	匿 名	3
	西川 洋一	3		吉浦 和孝	3
	石川 和重	3	高校47	中島 浩樹	3
	大島 道雄	3		宮川 伸一	8
	出井 喜一	8	高校51	葛城 英彦	3
	田中 英明	3			
高校21	福田 健児	8			
	高橋 元子	3			
	植木 謙	8			

（敬称略、単位：千円）
寄付者数：96名
672,000円

※お詫びと訂正：

前号の寄付者名簿で、高校5回の故本間康夫さんのお名前は正しくは康雄さんです。また、高校21回に記載の石川和重さんは高校20回の誤りです。お詫びして訂正いたします。

井草会事務局

〒177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内

ホームページ：https://www.igusakai.org

※お問合せはホームページから、または郵便でお願いいたします。